

企業短期経済観測調査(道北 地域分)
(調査対象企業:道北 地域 50社)

上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内

(回答社数構成比%ポイント)
()内は前回調査時予測

(判断D.I.)

	2010/3月	6月	9月	12月	2011/3月	6月	2011/9月までの予測
業況判断 < 良い - 悪い >	27	25	23	29	34	(42) 33	39
うち製造業	9	0	9	30	20	(30) 10	30
非製造業	32	30	32	29	38	(45) 43	41
国内での製商品・サービス需給 < 需要超過 - 供給超過 >	42	32	37	43	45	(45) 33	40
製商品在庫水準 < 過大 - 不足 >	7	2	12	0	3	() 5	
生産・営業用設備 < 過剰 - 不足 >	6	6	6	2	19	(13) 4	2
雇用人員 < 過剰 - 不足 >	0	4	4	2	23	(13) 7	7
資金繰り < 楽である - 苦しい >	24	10	12	12	21	() 29	
金融機関の貸出態度 < 緩い - 厳しい >	13	16	6	6	4	() 9	
借入金利水準 < 上昇 - 低下 >	6	2	16	13	2	(7) 3	7
販売価格 < 上昇 - 下落 >	31	34	38	34	33	(31) 25	27
仕入価格 < 上昇 - 下落 >	11	9	13	12	25	(41) 27	34

(注)「製商品在庫水準判断」および「資金繰り判断」、「金融機関の貸出態度判断」の「2011/9月までの予測」は調査対象外。

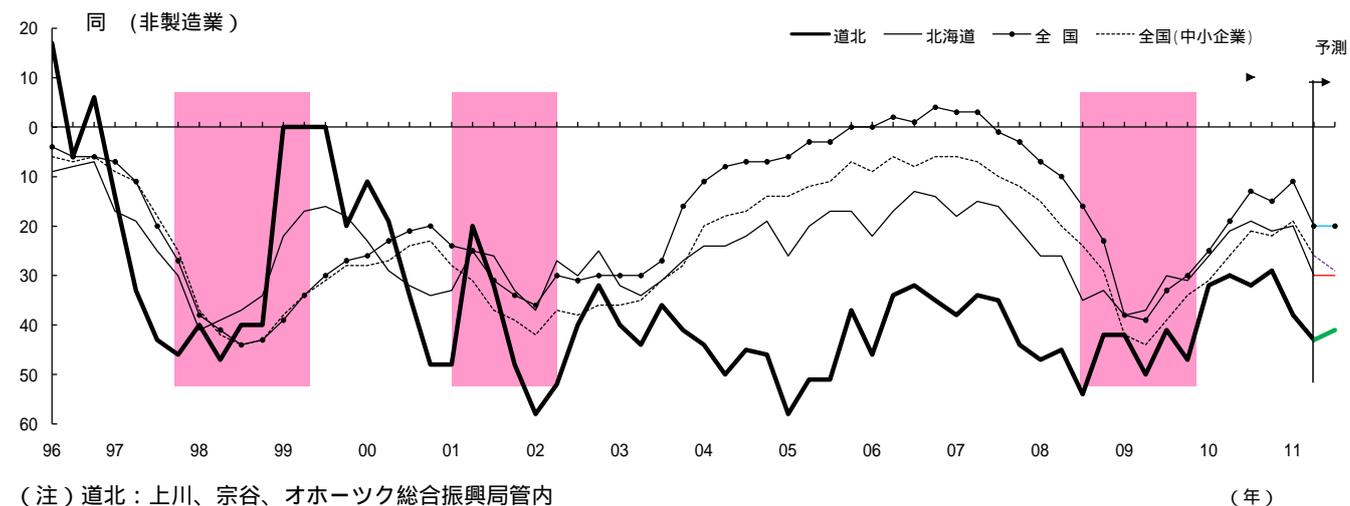
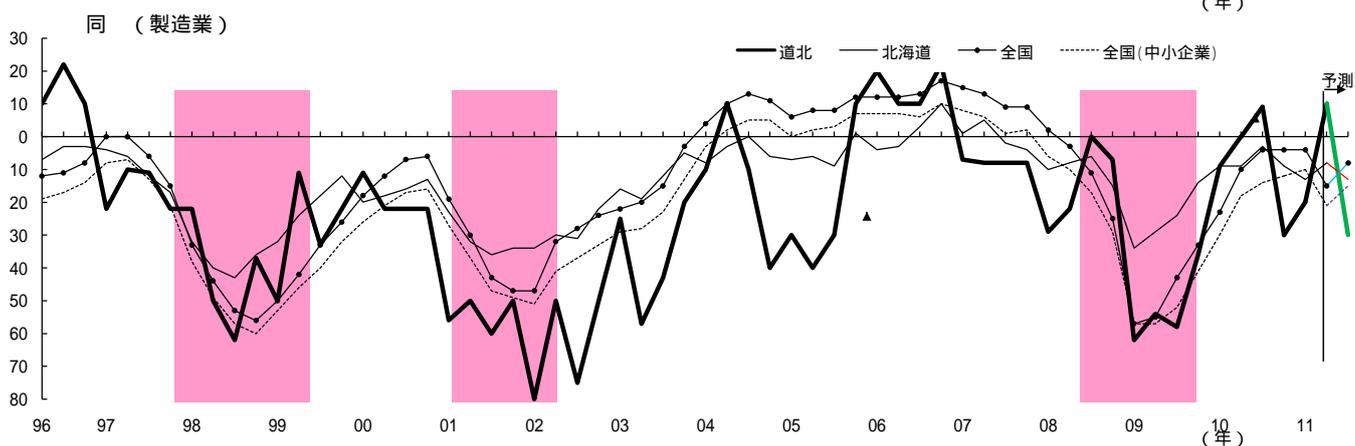
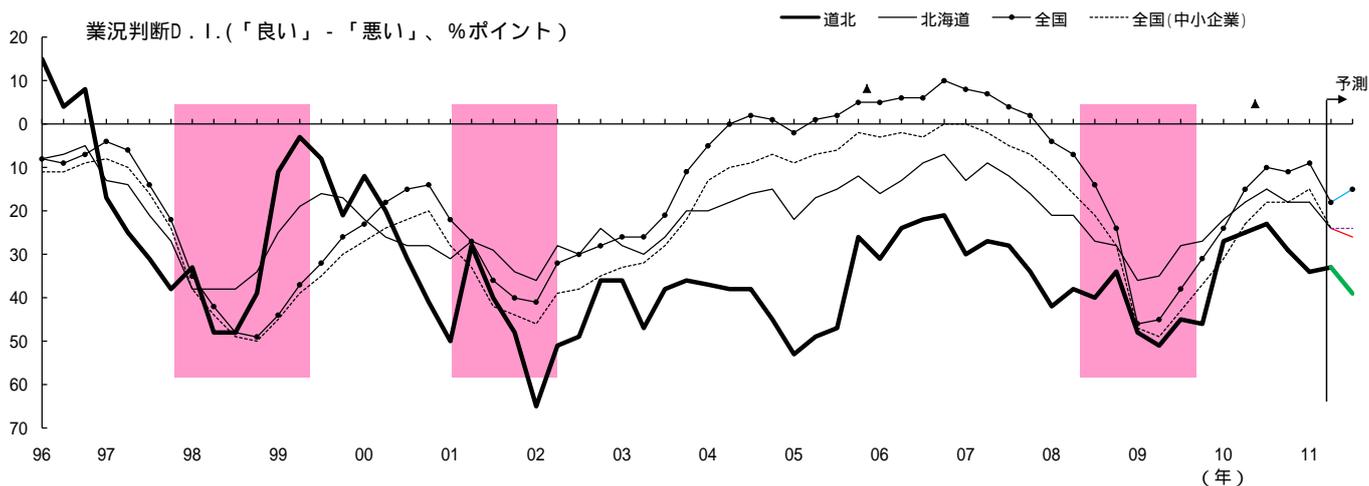
(事業計画)

(全産業、前年度比%、)
(< >内は前回調査比修正率%)

	2010年度	2011年度計画			
		上期		下期	
売上高	+0.9 < +0.7>	+1.1 < +2.6>	+2.3 < +3.9>	0.1 < +1.5>	
経常利益	4.2 < +67.3>	4.0 < -14.5>	42.7 < -27.9>	3.2倍 < +5.8>	
当期純利益	+38.3 < 2.2倍>	15.9 < -18.6>	47.8 < -17.5>	24.8倍 < -20.1>	
設備投資額	+9.3 < -1.6>	11.8 < +6.7>	0.2 < +7.0>	23.3 < +6.3>	

(注)調査対象企業等見直し後の新ベース。

2011年6月短観・調査結果



(注) 道北：上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内
 2009/9月以前は調査対象企業等見直し前の旧ベース、2009/12月以降は見直し後の新ベース。

■ シャドーは景気後退期 (内閣府調べ)

2011年6月短観のポイント

- | 回答期間：2011年5月30日～6月30日。
- | 道北地域50社が対象（有効回答社数49社）。

（判断D・I）

- | 業況判断D・Iは33%ポイントと前回（3月）調査（34%ポイント）比1%ポイントの改善（ほぼ横這い）。足もと好転先が5社あった一方で、悪化先も5社と同数であったが、「良い」から「悪い」に悪化した先がなかった一方、「悪い」から「良い」に好転した先があったため、足もとの業況判断D・Iは改善した。足もと改善した先の背景としては、「同業他社の被災に伴う肩代わり需要」（食料品）、「防災意識の高まりや原発問題に伴う水需要増」（食料品）、「復旧需要」（木材・木製品）、「公共事業受注ないしこれに伴う宿泊客増」（建設、飲食店・宿泊）。足もと悪化した先の背景としては、「公共事業の受注減」（建設＜複数社＞）、「震災に伴う外食・観光需要減少」（卸売）。製造業で震災特需（代替需要、復旧需要等）の影響から業況が改善した先が目立つ一方、非製造業では震災の影響や公共工事の減少から悪化した先が目立っている。
- | 製造業では30%ポイント改善し+10%ポイントとなった（これは、2006年12月＜+22%ポイント＞以来の水準）。一方、非製造業では5%ポイント悪化して43%ポイントとなった。
- | 全国をみると、大企業製造業では9%ポイントと前回調査比15%ポイントの悪化。先行きは+2%ポイントと11%ポイントの改善。中小企業全産業では24%ポイントと前回調査比9%ポイントの悪化。中小企業製造業では21%ポイントと前回調査比11%ポイントの悪化、同非製造業では26%ポイントと前回調査比7%ポイントの悪化。先行きは中小企業製造業で15%ポイントと6%ポイントの改善、同非製造業で29%ポイントと3%ポイントの悪化。
- | 全道をみると、全産業では24%ポイントと前回調査比6%ポイントの悪化。製造業では5%ポイント改善し8%ポイントとなった一方、非製造業は10%ポイント悪化し30%ポイントとなった。
- | 道北地域における6月の業況判断D・I（33%ポイント）は、前回調査における6月までの予測（42%ポイント）との対比で改善。先行き9月までの見通しは39%ポイントと悪化を見込んでいる。先行き好転先が6社ある一方で、悪化先は9社。業種別では足もと震災特需から大幅に改善した製造業が先行きこの剥落に伴い悪化を見込む（+10%ポイント 30%ポイント）一方、非製造業（43%ポイント 41%ポイント）はほぼ横這い圏内ながら若干の改善を見込んでいる。先行き好転先の主なコメントとしては、「復旧需要」（木材・木製品）、「自動車生産の回復」（小売）、「復興・

復旧需要への期待」(建設)など。先行き悪化先の主なコメントとしては、「震災特需の剥落を懸念」(食料品<複数社>、木材・木製品<複数社>)、「被災地優先等に伴う公共工事減少」(建設<複数社>)など。

- | 需給環境は改善。先行きは再び悪化を見込んでいる。
- | 在庫水準はほぼ横ばいながら若干過大超が拡大。
- | 生産・営業用設備は過剰超縮小。先行きも更なる縮小を見込んでいる。
- | 雇用人員の過剰感は縮小。先行きも横這いを見込んでいる。
- | 資金繰りは、苦しい超が若干拡大。また、金融機関の貸出態度も、若干厳しい超が拡大。この間、借入金利水準は低下超。先行きは若干の上昇を見込んでいる。
- | 仕入価格は上昇超が続く(3月時点における6月予測よりは超過幅は小さい)。先行きは上昇超拡大を見込んでいる。一方、販売価格は現在、先行きとも下落超が続く。

(事業計画)

- | 2010年度の売上高は、木材・木製品や建設を中心に前回調査比若干の上方修正(+0.7%)となり、+0.9%の小幅増収となった。2011年度上期計画をみると、木材・木製品や建設を中心に前回調査比若干(+3.9%)の上方修正となり、前年同期比+2.3%の増収を見込んでいる。
- | 2010年度の経常利益は、木材・木製品や建設を中心に前回調査比大幅な上方修正(+67.3%)となり、4.2%の小幅減益となった。2011年度上期計画をみると、飲食・宿泊サービス、窯業・土石製品を中心に前回調査比下方修正(-27.9%)となり、前年同期比-42.7%を見込んでいる。
- | 2010年度の設備投資額は、前回調査比若干の下方修正(-1.6%)となり、+9.3%の増加となった。2011年度上期計画をみると、電気機械、木材・木製品、建設の増加から前回調査比上方修正(+7.0%)となり、前年同期比+0.2%を見込んでいる。

以 上